



# 舫

もやい

…船をつなぎとめること  
共同で事をなすこと

学校ホームページ  
QRコード→



## 2学期スタートです



9月になりました。2学期（12月23日まで）77日間（授業日）のスタートです。昨日までの夏休み、感染拡大第7波により“今年こそは”と予定されていた行事が、直前になり中止になったものも多くありました。また1学期末から、子どもたちやご家族の感染により大変なご苦労をなさったご家庭も多かったのではないかと思います。このような中で2学期が始まりますが、感染予防対策を講じながら、子どもたちの学びを深める取組を学校として最大限行っていきたいと思います。おもな行事予定は、以下のとおりです。

9月 8日（木）運動会結団式	9月12日（月）学校訪問（4校時授業）
9月30日（金）秋の遠足（4年）、通知表配付	10月14日（金）運動会前日準備
10月16日（日）秋季大運動会	10月17日（月）振替休業日
10月27・28日（木・金）むかばき宿泊学習（5年）	
10月28日（金）秋の遠足（1～3年）	11月13日（日）参観日 PTA/バザー
11月14日（月）振替休業日	12月 1日（月）みやざき学カテスト（5年）
12月1・2日（木・金）修学旅行（6年）	12月 9日（金）市スポーツフェスタ（6年）
12月16日（金）参観日 もちつき（5年）	12月23日（金）2学期終業式

※ 感染状況によっては日程の延期、計画の変更、中止も予想されます。ご了承ください。

これらの行事等をとおして、特に2学期は「続けること」「伝えること」の大切さを日々の学校生活や体験の中で実感させ、児童自らの成長につなげられるようにしていきます。

## 本年度の運動会について



10月16日（日）開催予定の秋季大運動会ですが、本年度も感染予防や熱中症予防対策を考慮し、11:30～12:00をめぐりに全プログラムを終了する運動会となります。

- ① 本年度も**時間短縮**を考慮したプログラムや順番を工夫する。 **9/1時点方針、変更もあり得ます。**
- ② 各学年の競技・演技は徒競争、表現（ダンス）、団技に加え、**本年度は各学年選抜児童による「学年部（1・2年、3・4年、5・6年）対抗リレー」を行う。**例年どおり対団リレーも実施する。密を考慮して競技組数・人数や位置を工夫し、用具を使用する際は、**滑り止め付き手袋を着用**する。
- ③ 競技中は熱中症対策を考慮して**児童も教師もマスクは外す**が、しゃべらないなど対策を徹底する。
- ④ 応援の際の「声出し」は**リーダーを中心に最小限度**にとどめる。保護者の観覧時の応援も、**昨年同様、声を出さずに拍手での応援**をお願いします。
- ⑤ 午前中終了ということで、**昼食は運動会（片付け）終了後、下校して各家庭**でとる。

当日の各家庭の観覧者数や観覧場所の制限他については、今後のPTA常任委員会で検討し、後日、あらためて別文書でお知らせします。

## 「補助輪を外した日からなぜだろうトトロがみえなくなっちゃった」

唐突ですが……。上は8月に日向市で行われた「牧水短歌甲子園2022」の決勝戦用に宮城県気仙沼高校の3年生が詠んだ短歌です。私事で恐縮ですが、3年ぶりに対面で行われたこの大会の2日目を観戦しました。そして、このような短歌（他にも“納得”の短歌が多数）を作る現代高校生の感性そして言葉選びセンスにうならされました。この大会は全国から予選を勝ち抜いた3人1チームの高校同士が、テーマに沿って自分で詠んだ短歌をアピールし、相手チームの短歌を批評し合う熱い討論を、対戦形式で展開します。ちなみに優勝は宮崎西高、延岡からは尚学館高等部も出場していました。高校生のトークバトル、審査員の講評も毎回とてもおもしろいです。ネット上に、大会の動画がアップされていますので、よかったらぜひご覧ください。（「第12回牧水短歌甲子園2022」で検索）



講評で、審査員の一人である俵万智さんは、この大会のことを「SNSなどで短い言葉で発信することが多い現代、自分の発した短い言葉がどう読まれるのかという想像力をもつこと、あるいは短い言葉を受け取った時にその背景を自分がどう想像力をもって読めるのかということなど、言葉を使う上での生きる力を養う場になっている」と評しました。言葉選びの大切さを、いろいろな側面から、あらためて考えさせられた時間でした。